四日市市立保々小学校だより

平成30年5月14日(月)No.7

令意志思

子どもたちにこんな話をしています。

全校下校の時に、担当の市川先生から「帰り道で、家の人が車に乗せてあげるって言ってきたら、みんなはどうしますか。」と、問われました。実は先日、地域の方や元保々小学校職員を講師に招き、保々地区18年間(社会へ)の育ちのプログラム」の研修会がありました。講師の方がみえて二人とも最初に言われたのが「今日は何かあるんですか?」という問いかけでした。「いえ、今日は何もありません。でも何かありましたか?」と逆に尋ねてみると、「玄関付近にお家の方がいっぱいみえたから。」「車を止める



場所がなくて苦労した。」と言われてしまいました。講師の方が車を止められないほどになっていたことをその時に知ったのですが、以前はお迎えの多さを気にしていたのに、その光景にいつの間にか慣れてしまっていた私は、「何かあるのか?」と聞かれるまで、その事に気づけず、ご協力いただいている多くの保護者・子どもたちがどんな気持ちでいるかという事に思いを馳せることができていない自分が情けなくなり、反省したところです。

学校だよりでもお伝えしているので、帰り道の途中でご自分のお子様を抜いていくように車に乗せていかれる方は随分減ったと思います。しかし、雨が降るとお迎えの車が増えることを当たり前のように見ていた自分に気づきました。極力歩いて帰って欲しいというのは、子どもたち自身が互いになかまを大切にし合う関係が育って欲しいと願ってのことです。そして、ルールを守っている子どもたちの多くが「ルールを守る方が何となく損しているような気持ちになる」ような保々小学校ではだめだと改めて思いました。ルールを守っているほうが気持ちがいい、みんなが約束を守るからこそ学校が安心していられる、約束を守ることを当たり前にして「おかしい」と気づいたことを言い合える、そんな学校づくりに、保護者の方のご協力をお願いします。

【子どもたちの様子から】 5月2日(水)遠足に行ってきました。

天候の判断はとっても悩みました。前日から雨の降りだしの予想時刻がどんどん変わったからです。判断をした朝6:30の時点では12時ごろに振り出す予報でした。そのため、少しでも早く出発して、現地で遊ぶ時刻を確保してもらうようにしました。どの遠足先も着いた時には雨が降っていなかったのですが、少し遊び始めるとすぐに雨が降り出しました。「11時ごろまでは降らないで。」と願っていたのですが、



3・4年生霞ゆめくじら公園には、友だちと並んで滑られる滑り台がありました。

子どもたちには、ちょっと残念な気持ちを残してしまいました。それでも、各学級で書かれた作文の中には、ほんの少しの遊び時間でも高学年の子どもたちが下級生を思いやりながら遊んだことがたくさん書かれていて、子どもたちはいいなあと思いました。



2・5年生は東員町中部公園、一番に雨が降 り出し、すぐお弁当タイムになりました。

5年生田植えをしました。

今年も保々の自然に親しむ会のみなさんにお世話になって、7日(月)にやしない(肥料)をまいて、9日(水)に田植えをする予定でした。しかし、7日(月)が大雨になってしまったので、9日(水)やしないまきと田植えを一緒にすることとなりました。

初めに、やしない(肥料)を教えてもらい、 全員で田んぼに広がって、均等にまくことを 指導いただきました。指導後、さっそく田ん ぼに入りました。朝方雨が少し降っていたこ ともあって、田んぼの水はいつもより冷たく 感じました。「ひゃー。」っていう声があちこ ちから聞こえました。でも、慣れると気持ち いい感触になったようで、横に何人かで並ん で、前に進みながらやしないをまきました。

そして、いよいよ田植えです。苗の東を見せてもらいました。登校してくる道の両側にある田んぼはほとんど田植えが終わっているので、苗も見てはいるのですが、手に取って見るのは初めてという子のほうが多く、がら、田植えのコツを教えてもらいました。今年の列に並んだのですが、一人ひとりに任さのはいた以上に大変でした。しかし、保々の自然に親しむ会の皆さんがその隙間を上手に植えていただき、完成した田んぼはきれいに隙間なく苗を植えることができました。

これから9月の稲刈りまで苗の育ち具合を目かばら知察なりていまます。 繋ば なる 気





列を上手に作って、うまくまいています。



見ながら観察をしていきます。登校班で毎日上条や新田の人は、今回田植えをした田んぼ の横を通ってきますから、その成長の様子を5年生のみなさんに伝えてあげてくださいね。